

図書館だより

5月

ワシントン日本語学校図書館 (tosho@wils.org) 令和7年 5月号
開館時間 8時50分～16時00分



4月23日～5月12日は「こども読書週間」です。こどもたちにもっと本を！との願いから、「こども読書週間」は1959年にはじまりました。小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、みんなが大きくなるためにとても大切なことです。また、大人が本をこどもに手渡す週間でもあります。私たちが知らない世界、したことのない経験、人の思いなど、たくさんのおしえてくれる本。新しい出会いをぜひ探しに来てください。



(公益社団法人
読書推薦運動協議会
HPより)



本を借りてスクラッチカードをもらおう！



ワシントン日本語学校では5月を「こどもの読書月間」とし、期間中本を借りた生徒全員に「なにがでるかな？スクラッチカード」をプレゼントします。(1人1枚まで) 保護者の方は子どもの頃に読んだ本を子どもたちにすすめてみてはいかがでしょうか。(生徒のアカウントでの貸出もできます) この機会に図書館を利用して、さまざまな図書に親しみ読書を楽しんでください。

たくさん
よんでね！



人気シリーズ 貸出案内

「漫画」「サバイバル」「タイムワープ」「発明・実験対決」「どっちが強い!?」「最強王図鑑」については、生徒それぞれ1人1冊まで借りることができます。放課後、対象の本が棚に残っている場合、保護者の方にも貸出できます。限られた本を多くの生徒に利用してもらいたいため、皆様のご協力をお願いいたします。



漫画の蔵書番号は「18」からはじまります。

4月人気ランキング

絵本

小説・文芸

1 ノラネコぐんだん/工藤ノリコ

2 ヨシタケシンスケさんの絵本

3 どこどこどこ いってきまーす
/長谷川義史
パンダのおさじとフライパンダ
/柴田ケイコ

1 天久鷹央の事件カルテシリーズ
/知念実希人

2 禁忌の子 /山口未桜

3 プロジェクト・ヘイル・メアリー /アンディ・ウィアー

4月貸出状況

貸出利用者	
生徒	828人
保護者	342人
貸出冊数	3,062冊



今月の 特集

全国の書店員がいちばん売りたい本を投票で選ぶ2025年本屋大賞が発表され、阿部暁子さんの小説「カフネ」に決まりました。皆さんの予想は当たりましたか？
 今月は受賞作品、ノミネートされた5作品を集めました。
 また、10日、17日は特別講師をお迎えして特別授業が行われます。そこで授業にぴったりな本やもっと知りたくなるような本を集めました。気になったこと、もっと調べてみたいことがあったら、ぜひ手にとってみてください。

「カフネ」阿部暁子（講談社）



最愛の弟が急死した。29歳の誕生日を祝ったばかりだった。姉の野宮薫子は遺志に従い弟の元恋人・小野寺せつなと会うことになる。無愛想なせつなに憤る薫子だったが、疲労がたたりその場で倒れてしまう。実は離婚をきっかけに荒んだ生活を送っていた薫子。家まで送り届けてくれたせつなに振る舞われたのは、それまでの彼女の態度からは想像もなかったような優しい手料理だった。久しぶりの温かな食事に身体がほぐれていく。そんな薫子にせつなは家事代行サービス会社『カフネ』の仕事を手伝わないかと提案する。食べることは生きること。二人の「家事代行」が出会う人びとの暮らしを整え、そして心を救っていく。



「禁忌の子」山口未桜（東京創元社）



救急医・武田の元に搬送されてきた、一体の溺死体。その身元不明の遺体「キュウキュウ十二」は、なんと武田と瓜二つであった。彼はなぜ死んだのか、そして自身との関係は何なのか、武田は旧友で医師の城崎と共に調査を始める。しかし鍵を握る人物に会おうとした矢先、相手が密室内で死体となって発見されてしまう。自らのルーツを辿った先にある、思いもよらぬ真相とは一。過去と現在が交錯する、医療×本格ミステリ！第三十四回鮎川哲也賞受賞作。

大賞	『カフネ』	阿部 暁子（講談社）
2位	『アルプス席の母』	早見 和真（小学館）
3位	『小説』	野崎 まど（講談社）
4位	『禁忌の子』	山口 未桜（東京創元社）
5位	『人魚が逃げた』	青山 美智子（PHP研究所）
6位	『spring』	恩田 陸（筑摩書房）
7位	『恋とか愛とかやさしさなら』	一穂 ミチ（小学館）
8位	『生殖記』	朝井 リョウ（小学館）
9位	『死んだ山田と教室』	金子 玲介（講談社）
10位	『成瀬は信じた道をいく』	宮島 未奈（新潮社）

「レモンをお金にかえる法 経済入門の巻」 ルイズ・アームストロング（河出書房新社）



コミカルな絵とストーリーを楽しんでいるうちに、アッというまに生きた経済の仕組みがわかってしまう、マンガで読む経済学入門。（低学年～）



「島秀雄 新幹線をつくった男」桐嶋たける（KADOKAWA）

島秀雄は、鉄道技師だった父親が実現できなかった夢の鉄道として、東海道新幹線を完成させました。「夢の超特急」と呼ばれた新幹線は、早くて便利な鉄道として、日本の発展に貢献し、世界の鉄道の進歩にも大きな影響を与えました。これからは飛行機や自動車が交通の主役になると言われていた時代に、新幹線という夢の鉄道を追い続け、さまざまな問題を解決してこれを実現した人たちのドラマを紹介します。

「お金のこと」「お金が動かす世界」（旺文社）



テーマは「金融」です。金融とは、今すぐ使う必要のないお金を、必要とする人に使ってもらうことです。あまり表には出ませんが、社会を支えている大事な仕組みの1つです。近年、情報技術と金融を組み合わせたサービスの拡大など金融に関連する様々な変化が起きています。これらを遠い金融の話ではなく身近にあるものと感じて、みなさんの将来の可能性を広げていきましょう。



「飛行機の大研究」ヒサクニヒコ（PHP研究所）

ライト兄弟の初飛行からはじまった飛行機が、100年でどう変わってきたか。「空を飛ぶたい」という人類の夢からはじまった飛行機。さまざまな歴史をたどり発達してきた飛行機は、私たちの生活に欠かせないものになりました。世界の歴史とともに、飛行機がどのように進化してきたのか。飛行機が空に浮かぶ仕組みなど、飛行機に関する情報が盛りだくさんのノンフィクションです。

「きみのお金は誰のため」田内学（東洋経済新報社）



ある大雨の日、中学2年生の優斗は、ひょんなことで知り合った投資銀行勤務の七海とともに、謎めいた屋敷へと入っていく。そこにはボスと呼ばれる大富豪が住んでおり、「この建物の本当の価値がわかる人に屋敷をわたす」と告げられる。その日からボスによる「お金の正体」と「社会のしくみ」についての講義が始まる。（中・高校生～）



「ジェット機と空港・管制塔」モリナガ・リョウ（あかね書房）

乗り物のしくみと仕事を図解するシリーズ第3弾。ジェット旅客機のボーイング787を中心に、航空会社と空港の仕事徹底図解。旅客機で活躍するパイロットや客室乗務員はもちろん、空港で搭乗手続きをするグランドスタッフや、安全なフライトをささえる整備士の仕事まで、イラストでくわしくレポート。観音ページでは、東京国際空港の管制塔「トウキョウタワー」の最上部、管制室から見た滑走路や駐機場をパノラマで図解する。（低学年～）



読書月間

ワシントン日本語学校図書館

5.3-31[±]

8:50-16:00

児童・生徒のみ

読書通帳をプレゼント♪ 数に限りがあります



スクラッチカードをもう一枚♪

わくわくする本に
たくさん触れて
読書を楽しもう♪

おすすめ本を紹介しよう♪

読書通帳は1人1冊まで。20冊まで記録
できます。通帳がいっぱいになったら
「プラス券」をプレゼント！
通帳の使用期限はありません。